

広報

心の通う福祉のまちづくり



さつま町ふくし

No.14

平成21年11月発行

発行・編集

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会
さつま町宮之城屋地2117-1（宮之城ひまわり館内）

TEL 0996-52-1123
FAX 0996-52-1148



わが街のふくし

時吉地区社会福祉協議会

会長 田中 俊徳

時吉地区は、町の中心から北東に約2km、川内川沿いに位置する水田地帯で、水稻、施設園芸、畜産を組み合わせた複合経営が主体の農業地帯です。また、近年、市街地に近接しているため比較的、住民の混在化が進んでいます。

平成十九年三月に、四つの公民会が合併し、現在、二つの公民会となり、平成二十一年八月現在、人口四百五十四人、高齢化率三十二・四%となっています。

「みんなで学び、みんなの力を合わせて住みよい地域づくりをめざす」の基本方針と八つの申し合わせに基づき、「先輩が郷土を作ってくれたことに敬意を表わし、その感謝の心を持つとともに、地域の未来を担う子どもたちが、郷土のために役立つ人として育つよう」と地域が一体となって取り組んでいます。

◎敬老会の開催

毎年、敬老の日に時吉区主催による敬老行事を行なっています。敬老祝賀会は午前八時より、老人クラブ会員が出席して、時吉ほたる館で開

催し、小学生による敬老作文の発表や、マジックショー、五ツ太鼓、日本舞踊など賑やかな余興を楽しみ、ささやかな記念品を差し上げてお祝いをしています。

祝賀会は、一時間程度で終了し、場所を時吉区運動公園に移し、敬老大運動会を旧公民会対抗で実施しており、プログラムの中には、高齢者を対象とした「宝つり」を今でも実施しています。

五十名の会員の方々が、毎月一回、地区公民館で健康新体操、健康講座などを行ない、また、温泉に行くなど楽しく活動しています。

◎老人クラブの活動

時吉地区の老人クラブは、満六十歳に達すると、全員加入することを原則としており、町老連の行事参加はもとより、交通教室、健康講座、児童遊園地の除草、花の道の花植えや手入れを行ない、また、町のいきいきシルバースポーツ大会でも毎年大活躍しています。

中の事業開始に向け、住民参加型の地域福祉サービスを計画中です。



社協ミニ情報

議会では、平成二十二年度

異世代、異年齢間の交流を深めるために、毎年一回、高齢者と小中学生による「ふれあいグラウンドゴルフ」大会を開催しています。孫たちと楽しくプレーする高齢者の姿は、実に微笑ましいです。これからも、地域福祉の原点を見つめ、関係機関と連絡調整を図りながら、地域福祉の向上に努めていきたいと思っています。

◎ふれあいきいきサロン

「時吉ほたる会」の名称で、地区全体のサロンを実施しています。「健康づくり推進員」の皆さん世話をとなり、高齢者を中心とした約

五十名の会員の方々が、毎月一回、地区公民館で健康新体操、健康講座などを行ないます。

◎高齢者と小中学生との交流



皆様方に、ご意見をお伺いするため、アンケート等の実施も考えておりますので、その際は、ご協力くださいますようお願いします。

第1回さつま町福祉・ボランティアフェスタ

去る、8月1日に第1回さつま町福祉・ボランティアフェスタを開催いたしました。

当日は、記念講演、芸能発表、フリーマーケットなど、様々な催しを行ないました。

来年も、実施していくので、ぜひ一度、会場へ足を運んでください。



(左) ビッグかぼちゃ重さ
当てコーナー



(上) 芸能発表の様子
(左) かき氷屋さん

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金

今年度も、十月一日から赤い羽根共同募金運動が展開され、十二月一日からは、歳末たすけあい募金活動が展開されます。

昨年度は、皆様方のご協力の下、さつま町の募金目標額を達成することができました。誠にありがとうございました。

今年度も、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

皆様方からいただいたご寄付は、県内の福祉施設や団体、社会福祉協議会に配分され、地域福祉の向上のために使われています。

詳しくは中央共同募金会、鹿児島県共同募金会のホームページをご覧ください。

宮之城中学校総合的学習



皆様方の気持ちに感謝

今年度も、宮之城ふくし園（園長川瀬幸子）様より、夏祭りの益金を社会福祉協議会へご寄付くださいました。まことにありがとうございました。

した。

地域福祉のために活用させていただきます。

また、山崎にお住まいの稻留是正様より、手押し車をご寄贈くださいました。有効に活用させていただきました。ありがとうございました。

三年生を対象とした、総合的学習の時間に、高齢者疑似体験、車いす体験、手話の学習が行なわれました。当時は、社会福祉協議会の職員四名と、手話担当として農協に勤務する、徳留栄子さんが講義、指導にあたりました。

生徒の皆さんは真剣に取り組み、短い時間でしたが、有意義なものになつたと思います。この体験を今後繋げていってもらいたいものです。

山崎の稻留是正様と赤崎社協会長（手押し車寄贈）



宮之城ふくし園園長川瀬幸子様から赤崎社協会長へ
(夏祭り益金寄付)

心と心の輪を大切に

さつま町立鶴田幼稚園

本園は、鶴田幼稚学級として昭和四十一年に発足し、昭和五十六年に鶴田町立鶴田幼稚園となりました。平成十七年三月、三町合併により、さつま町立鶴田幼稚園と名称が変わりました。

町内唯一の町立幼稚園として、平成二十一年五月からは、念願であつた四歳児の入園が認められ、現在四歳児六名、五歳児四名、計十名が在園しています。

園は鶴田小学校内に併設され、小高い諏訪山の緑に囲まれた静かなたたずまいの中にあります。

平成十年に建てられた園舎は、木造で、木の温もりを感じさせる夢のある造りになつており、園舎を囲む緑の草花や木々などの自然、地域の方々や小学園児は恵まれた環境の中で、毎日伸び伸びと楽しく園生活を過ごしています。



平成21年11月発行

◎老人クラブの方々との交流

本園は、地域の中の幼稚園として、平成十年より、神子区東、西老人クラブの方々、現在では、神子東老人クラブの方々と「さつま芋」を通じての交流を行っています。

十一月 芋ほりと焼き芋

いよいよ収穫の時期を迎えます。老人クラブの方々と一緒に植えた苗が、大きく成長し、園児たちの期待も大きく膨らみます。

いざ芋を掘るとなると、子どもたちも老人クラブの方々も、何ともいえない表情です。

「おじいちゃん、見て見て。大きなお芋だよ。」

「大きいね。一人で持てるね?じい



五月 苗の植え付け

地域の方の畠を借りて、さつま芋の苗を植え付けます。

園児は、ほぼ全員が裸足になり、老人クラブの方々が作つてくださつた畝にマルチを張り、その後、苗の植え方を教えていただきながら、一本一本ていねいに植えていきます。

戸惑う園児の手を取り、一緒に苗を植えてくださる老人クラブの方々の優しい眼差しと言葉は、園児が植物を「育てる」ということへの期待を大きくするとともに、「育てる」ことの大変さも教えてくださっています。

ちゃんと一緒に持つてあげようか?」と、会話も弾んできます。
大きなお芋も、小さなお芋も、どれも皆で「育てた」お芋です。
大切に、一つ一つを掘つていきます。
真っ黒になつた足や手、顔、どれも喜びの姿です。

その後は、近くにある公民館の庭で、昔ながらの「焼き芋会」。

焼き芋を食べる表情は、園児も老人クラブの方々も、皆一緒。「育てた喜びと感謝」です。

十二月 餅つき、門松つくり

園児と保護者、老人クラブの方々と一緒に収穫祭を兼ねた餅つきと門松つくりを行います。

園児のお母さん方は、老人クラブの女性の方に、かまどでのもち米の蒸し方などを教えてもらい、園児のお父さん方は、老人クラブの男性の方と門松つくりをします。

門松の作り方や由来などを聞きたが、その伝統を受け継いでいつてくださっています。

その後、杵とうすを使つた餅のつき方や餅の丸め方など、いろいろなことを教えてもらい、白いお餅をついた後、秋に収穫したお芋を混ぜて「ねつたぼ」をつくりました。あつという間に三世代交流ができました。年間を通じて、このように神子東老人クラブの方々と交流を深めていきます。



幼児期と言う大切な時期に、いろいろな人とかかわり、同じ体験をすることで、同じ思いをともにすることができ、それを繰り返していくうちに、お互いに人間関係が豊かになります。幼児期と言ふと、まだ心は「人の中で生きていくことの楽しき」を味わい、「生きる力の基礎」を身につけつつあるようです。交流の後に、園児はいつも懐かしい童謡〔雨〕や〔夕日〕などを歌うようになります。

老人クラブの方々はそれを聞きながら、とても懐かしそうに一緒に口ずさんだり、踊つてくださったりします。その姿は、いつも心温まる光景の一つです。

ボランティアで畠を貸してくださつている方、神子東老人クラブの方々、そしていつも声をかけてくださる地域の方々に、心から感謝するとともに、地域で行われる行事や、イベント等に積極的に参加し、地域の方々と心と心の輪を大切にしていきたいと思います。

知識	勝子	(故)	久保田善光	(故)	紺屋	一幸	(故)	紺屋	榮太郎	下手
河内野	小代子	(故)	崎野	元	大海	(故)	小川	勝	あながわ	上仲町
湯之上	ユキ子	(故)	湯之上	成夫	二丸	(故)	崎野	ハルミ	東町	知識
湯之上	京子		屋地		三子	(故)	岡元	兼吉	中央	久保田アキヨ
					岡元					

寄付者名（故人名）（敬称略）

香典返し寄付

なお、前回掲載漏れがありましたので、ここにお詫びして、今回、掲載いたします。

社会福祉協議会では、皆様方より頂きました寄付を、地域福祉の向上のために使用させていただいております。

皆様の
善意に
感謝申し上げます

神園	帖佐	梅木田ユキ工	神園	谷口	遠竹キミ工	神園	梅木田ユキ工	神園	阿久根正良	福岡市
		(故)		(故)	(故)		(故)	(故)	(故)	京塚原
		和代		絹枝	遠竹定雄		和代	平郡キミ工	阿久根正良	山崎上
		(故)		(故)	(故)		(故)	(故)	(故)	梅木田光雄
					轟原		轟原	轟原	轟原	山崎上
					轟原ツル工	(故)	轟原	轟原	轟原	鹿児島市
					長元堅二	(故)	長元ミヤ子	長元ミヤ子	長元ミヤ子	鹿児島市
					中間美佐子	(故)	中間和哉	中間和哉	中間和哉	下京塚原
					餅田幸藏	(故)	餅田キワ	餅田キワ	餅田キワ	下京塚原
					今西実雄	(故)	今西ヤエ	今西ヤエ	今西ヤエ	橋掛
					東和美	(故)	東ヒロ	東ヒロ	東ヒロ	橋掛
					中野政己	(故)	中野近	中野近	中野近	橋掛
					長崎リヨコ	(故)	長崎孝二	長崎孝二	長崎孝二	橋掛
					尾上ユキ工	(故)	尾上高記	尾上高記	尾上高記	橋掛
					遠矢公子	(故)	遠矢堅二	遠矢堅二	遠矢堅二	橋掛
					佐野美智子	(故)	林トメコ	西新町	西新町	橋掛
					阿多マツエ	(故)	阿多和喜	阿多和喜	阿多和喜	橋掛
					徳留ミエ	(故)	徳留隼人	徳留隼人	徳留隼人	橋掛
					永徳キク	(故)	永徳輝志	永徳輝志	永徳輝志	橋掛
					川畑勢香	(故)	川畑貞雄	川畑貞雄	川畑貞雄	橋掛
					下大迫妙子	(故)	下大迫源二	下大迫源二	下大迫源二	橋掛
					十島サチ子	(故)	十島當市	十島當市	十島當市	橋掛
					淵上奉之	(故)	淵上廣盛	淵上廣盛	淵上廣盛	橋掛
					高下隆二	(故)	高下友榮	高下友榮	高下友榮	橋掛
					橋口良登	(故)	橋口兼二	橋口兼二	橋口兼二	橋掛
					奥山美子	(故)	奥山大輔	奥山大輔	奥山大輔	橋掛
					假屋原ソエ	(故)	高下高嶺	高下高嶺	高下高嶺	橋掛
					下小園徳雄	(故)	下小園徳雄	下小園徳雄	下小園徳雄	橋掛
					手塚フク工	(故)	手塚一彦	手塚一彦	手塚一彦	橋掛
					福山達男	(故)	福山ヨシ子	福山ヨシ子	福山ヨシ子	橋掛

匿名希望
一件

篤志寄付

七万六千六百十一円

四
件

白男川なかよしサロン

代表 久徳 スミ子

白男川は、さつま町中心部から約4km北西部にあり、美しい山々に囲まれた自然豊かなところです。

朝な夕なに、雄大な紫尾山を眺めて過ごしております。

白男川なかよしサロンは、平成十六年七月から、白男川中、梁原公民会合同で行なっています。老人会の方々にサロンに入会していただき、会員は約四十名です。

月二回の活動を行ない、白男川紫陽館にて午前十時から十二時まで、会費百円で実施し、また、毎月第二土曜日には、小学校の校庭を借りてグラウンドゴルフを楽しんでいます。



地区では、高齢化が進み、寝たきり予防や閉じこもり防止に取り組み、

通常のサロンの時は、毎回お茶飲みを行ない、時間があつたら踊りの練習もします。春の花見には踊りを披露し、楽しいひと時を過ごしています。また、三月には年一回の町外研修も行ない、とても喜んでいただ

仲間づくりや、生き生き老人をめざしています。在宅福祉アドバイザーの方々が、手作りのお菓子や漬け物等を持参くださって、毎回和やかな雰囲気で行なっています。内容は健康体操、交通教室、防犯教室、口腔教室、栄養教室等です。

十二月は忘年会、一月は新年会を兼ねてグラウンドゴルフの後に昼食会を開き、年一回は皆さんに賞品も準備して楽しく行なっています。



その他、白男川小学校との交流活動も行なっています。
昨年は、一、二年生と昔遊びを行ない、学校給食試食会にも参加させていただきました。

長くて短い人生です。住み慣れた土地で人生をともにした同士、元気で、仲良く、楽しく集えることに感謝し、今日も良い一日であつたと喜び合えることが、生きる力につながるのではないかでしょうか。皆様方の限りない幸せを願っています。

●編集後記●

寒さが身にしみる時期になりました。新型インフルエンザが心配ですが、みなさん、体調には気をつけてくださいね。今年も残すところ、あと一ヶ月と少しになってしまった。満足できる一年になりましたでしょうか？景気が早く良くなることを、切に願って、来年を迎える準備にかかりたいと思います。これからも、社協をよろしくお願ひします。（T）

《編集委員》

松下 正人（屋地）、桑波田敏光（屋地）
甫立ミヨ子（虎居）、有馬 崇浩（社協）

【ひまわり館フリーマーケット開催】 出店者大募集

毎月第4日曜日に、ひまわり館にて開催します。11月より開催予定。10時から15時までを予定。

希望者は、事務局にご連絡ください。

また、皆さんのご来場、お待ちしています。

【墓守サービス事業 利用者募集】

新規事業として、墓守サービスを始めました。

皆さんの代わりに、町内にあるお墓の掃除、献花を行ないます。

ぜひ、ご利用ください。

料金は、コースにより異なります。

14,400円～124,400円

問合せ先

さつま町社会福祉協議会

さつま町宮之城屋地 2117-1

TEL 52-1123/FAX 52-1148